

『有病者歯科学』第2版に関連する歯科医師国家試験の過去問題

- ・本書の内容に関連すると思われる歯科医師国家試験の過去問題を掲げました。
- ・問題番号は略称です。「110C-6」→第110回歯科医師国家試験C問題6番
- ・解答は、厚生労働省から公表されたものによっています。

第2章1節 医療面接

110C-6

要介護高齢者の医療面接で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 一問一答で行う。
- b マスクを着用する。
- c 非言語的な表現を避ける。
- d 多くの情報を一度に伝える。
- e 生活環境に対する質問は避ける。

解答：a

102B-110

激痛を訴える患者に対する医療面接で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 動機付け
- b 閉鎖的質問
- c 専門用語の活用
- d 時間をかけた面接
- e 応急処置後の面接

解答：b

101B-11

医療面接で適切なのはどれか。

- a 専門用語を用いる。
- b 視線を合わせない。
- c 開放的質問を避ける。
- d 言い忘れがないか確認する。

e だまって患者の言うことを聞く。

解答：d

100A-17

医療面接の目的で適切でないのはどれか。

- a 患者との信頼関係の構築
- b 患者との情報の共有
- c 治療への協力依頼
- d 治療への動機付け
- e 同意に向けた誘導

解答：e

第2章2節 バイタルサイン 1) 全身の診察 (3) バイタルサイン

108C-7

バイタルサインでないのはどれか。1つ選べ。

- a 脈拍
- b 体温
- c 血圧
- d 尿量
- e 呼吸

解答：d

第2章3節 有病者（小児・妊婦を含む）理解に必要な各種検査 1) 検体検査

111D-42

血液検査で菌性全身感染症の際に増加するのはどれか。3つ選べ。

- a CRP
- b CEA
- c 白血球数

- d アミラーゼ
- e プロカルシトニン

解答：a, c, e

107A-33

検体検査法と目的との組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 比色法 _____ 溶液体積の測定
- b ノーザンブロット法 _____ 抗原タンパク質の定量
- c ウェスタンブロット法 _____ RNA の検出
- d insitu ハイブリダイゼーション法 _____ アミノ酸配列の決定
- e Polymerase Chain Reaction (PCR) 法 _____ DNA の増幅

解答：e

第2章3節 有病者（小児・妊婦を含む）理解に必要な各種検査 1) 検体検査

(1) 一般臨床検査

109C-43

尿を検体として用いる検査項目はどれか。1つ選べ。

- a PT
- b AST
- c ケトン体
- d HIV 抗体
- e HbA1c 値

解答：c

第2章3節 有病者（小児・妊婦を含む）理解に必要な各種検査 1) 検体検査

(2) 血球検査、凝固・線溶、血液型・輸血関連検査、赤沈

112A-18

病態とそれを評価する血液検査項目の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 肝障害 ————— 尿酸
- b 膵疾患 ————— アミラーゼ
- c 腎障害 ————— AST
- d 低栄養 ————— CRP
- e 炎症反応 ————— クレアチニン

解答：b

110A-14

ABO 式血液型検査に用いられる反応はどれか。1つ選べ。

- a 凝集反応
- b 中和反応
- c 沈降反応
- d 溶解反応
- e 補体結合反応

解答：a

109A-121

成人の血液検査で基準値に性差がないのはどれか。1つ選べ。

- a 血清鉄
- b 赤血球
- c 白血球
- d ヘモグロビン
- e 血清クレアチニン

解答：c

109B-48

27歳の女性。顎変形症の手術を希望して来院した。時々立ちくらみや、めまいを自覚しているという。血液検査の結果を表に示す。

赤血球	357 万/ μ L
ヘモグロビン	8.5g/dL
ヘマトクリット	29.8%
白血球	4,500/ μ L
血小板	22 万/ μ L
白血球分画	
好中球	65.2%
好酸球	0.5%
好塩基球	0.3%
単球	6.0%
リンパ球	28.0%
血清鉄	17 μ g/dL
TIBC (総鉄結合能)	487 μ g/dL (基準値 246~396 μ g/dL)

立ちくらみや、めまいの原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 脱水
- b 慢性出血
- c アレルギー
- d 鉄分摂取不足
- e ビタミン B₁₂ 欠乏

解答：b, d

107C-9

採取した血液を遠心分離した際、全容量に占める血球成分の割合を示すのはどれか。1つ選べ。

- a Hb
- b Ht
- c MCV
- d MCH
- e 赤沈

解答：b

106A-106

心筋梗塞の既往があり、アスピリンを服用している患者で値が大きくなるのはどれか。1つ選べ。

- a Ht
- b PT
- c 白血球数
- d 血小板数
- e 出血時間

解答：e

106C-17

出血傾向の評価に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a Cr
- b PT
- c ALP
- d CRP
- e Bence Jones タンパク

解答：b

103C-78

ワルファリンカリウム服用患者の抜歯に必要な検査項目は何か。1つ選べ。

- a PT-INR
- b 出血時間
- c 血小板
- d 血清 FDR
- e 血漿フィブリノゲン

解答：a

第2章3節 有病者（小児・妊婦を含む）理解に必要な各種検査 1) 検体検査

(3) 生化学検査

110C-29

アシドーシスの判定に有効なのはどれか。1つ選べ。

- a 赤沈
- b 血球検査
- c 血小板機能検査
- d 免疫血清学検査
- e 血液ガス分析検査

解答：e

110C-88

アインザイムの違いを診断に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a CK
- b ALT
- c LDH
- d プラスミン
- e アンジオテンシン変換酵素（ACE）

解答：a, c

107A-111

直前の食事の影響を受ける血液検査項目はどれか。2つ選べ。

- a 血糖
- b HbA1c
- c γ -GTP
- d トリグリセライド
- e HDL コレステロール

解答：a, d

107C-106

細胞破壊で漏出した酵素の活性を測定する生化学検査項目はどれか。2つ選べ。

- a TG
- b UA
- c ALT
- d ACTH
- e LD (LDH)

解答：c, e

107C-117

クレアチンクリアランスで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a GFRを推算できる。
- b 筋肉量低下で上昇する。
- c 腎機能低下で上昇する。
- d 血清蛋白増加で上昇する。
- e 腎臓で生合成されたクレアチンを測定する。

解答：a

107C-130

血清カリウム値 (mEq/L) で基準値内にあるのはどれか。1つ選べ。

- a 0.01
- b 0.1
- c 1
- d 4
- e 8

解答：d

106C-36

アミノ酸代謝に関わる生化学検査項目はどれか。2つ選べ。

- a ALP

- b ALT
- c AST
- d ChE
- e LDH

解答：b, c

104A-25

栄養状態を評価する生化学検査項目はどれか。1つ選べ。

- a 尿素窒素
- b アミラーゼ
- c ビリルビン
- d 総タンパク
- e γ -グロブリン

解答：d

100A-91

検査項目と検査値の組合せで成人の基準値内にあるのはどれか。

- a 空腹時血糖 ————— 130mg/dL
- b 総タンパク ————— 5.5g/dL
- c CRP ————— 1.2mg/dL
- d AST ————— 35IU/L
- e ALT ————— 70IU/L

解答：d

第2章3節 有病者（小児・妊婦を含む）理解に必要な各種検査 1) 検体検査

(4) 免疫血清学検査

108A-33

臓器移植における組織適合検査はどれか。1つ選べ。

- a 羊水検査

- b HLA 検査
- c HBs 抗原検査
- d アレルゲン検査
- e 好中球機能検査

解答：b

108C-30

B型肝炎患者の検査結果で感染力が最も高いと考えられる組合せはどれか。1つ選べ。

- a HBs 抗原（－） _____ HBs 抗体（＋）
- b HBs 抗原（－） _____ HBe 抗体（＋）
- c HBs 抗原（－） _____ HBc 抗体（＋）
- d HBs 抗原（＋） _____ HBe 抗原（＋）
- e HBs 抗原（＋） _____ HBe 抗原（－）

解答：d

104C-1

リウマトイド因子はどれか。1つ選べ。

- a 抗原
- b 抗体
- c 補体
- d 血小板
- e サイトカイン

解答：b

第2章3節 有病者（小児・妊婦を含む）理解に必要な各種検査 1) 検体検査

(5) 微生物学検査

108C-22

歯周ポケット内の細菌の同定に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a Gram 染色

- b 抗体価測定
- c 位相差顕微鏡
- d 酵素活性測定
- e Polymerase Chain Reaction (PCR) 法

解答：a

106A-18

真菌症の血清診断に用いられる抗原はどれか。1つ選べ。

- a グルコン酸
- b β -グルカン
- c グリコーゲン
- d プロテオグリカン
- e ペプチドグリカン

解答：b

第2章3節 有病者（小児・妊婦を含む）理解に必要な各種検査

2) 生体機能検査（検体検査を除く）(1) 呼吸機能検査

111D-30

スパイロメトリで1秒率 80%、%肺活量 50%であった。考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 喘息
- b 間質性肺炎
- c 気管支拡張症
- d 慢性閉塞性肺疾患
- e 睡眠時無呼吸症候群

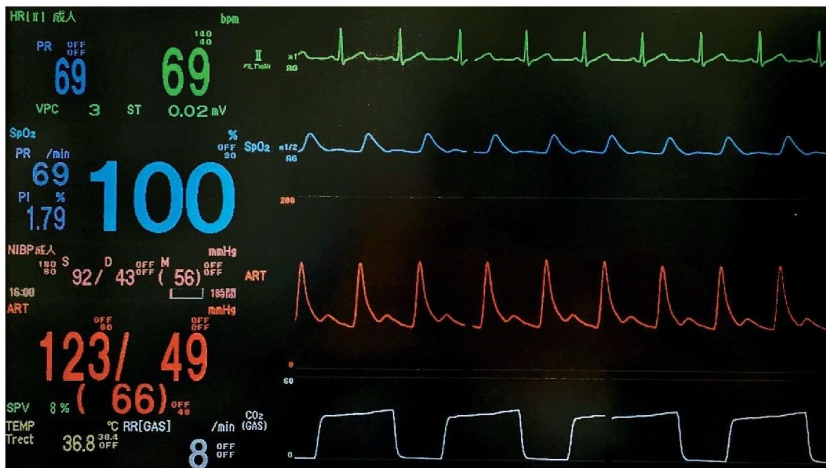
解答：b

第2章3節 有病者（小児・妊婦を含む）理解に必要な各種検査

2) 生体機能検査（検体検査を除く）(2) 心機能検査

112D-80

40歳の女性。全身麻酔下に下顎両側埋伏智歯を抜去した。浸潤麻酔後、モニタ画面の心電図波形に変化がみられた。変化前後の心電図波形（別冊 No. 27）を別に示す。



変化前



変化後

心電図波形の診断で正しいのはどれか。1つ選べ。

- 心室細動
- 心房細動
- 心室性期外収縮
- 完全房室ブロック
- 発作性上室性頻拍

解答：c

第2章3節 有病者（小児・妊婦を含む）理解に必要な各種検査

2) 生体機能検査（検体検査を除く）(4) 肝・胆道機能検査

101B-56

全身麻酔のために検体検査を行うと、白血球 6,000/ μ L、Hb 15g/dL、AST 150IU/L、ALT 180IU/L、TP 7.2g/dL、空腹時血糖 99mg/dL であった。

術前に内科での精査が必要な疾患はどれか。

- a 貧血
- b 糖尿病
- c 白血病
- d 慢性肝炎
- e 低タンパク血症

解答：d

第2章3節 有病者（小児・妊婦を含む）理解に必要な各種検査

2) 生体機能検査（検体検査を除く）(8) 腎機能検査

111D-39

腎機能を調べる検査項目はどれか。1つ選べ。

- a アルブミン
- b アルドラーゼ
- c クレアチニン
- d コリンエステラーゼ
- e α -フェトプロテイン

解答：c

100A-90

腎機能検査項目はどれか。

- a ALT

- b Ht
- c C反応性タンパク
- d APTT
- e クレアチニンクリアランス

解答：e

第2章3節 有病者（小児・妊婦を含む）理解に必要な各種検査

2) 生体機能検査（検体検査を除く）(9) 皮膚検査（有病者の病態把握に必要なもののみ）

109B-17

51歳の女性。口腔内の金属修復物に関する精査と加療のため、皮膚科から紹介により来院した。皮膚科では手掌の疾患に対して副腎皮質ステロイド外用薬の投与を受けているという。初診時の手掌の写真（別冊 No.17A）とエックス線写真（別冊 No.17B）を別に示す。



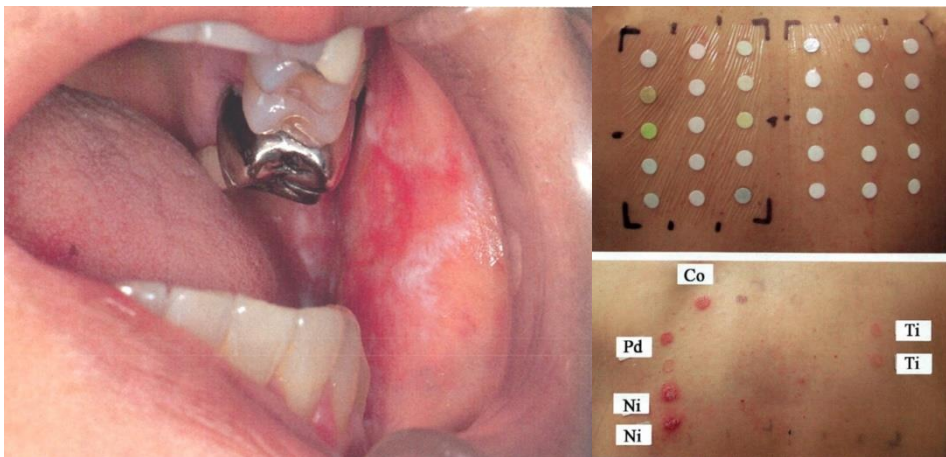
まず行うべき対応はどれか。1つ選べ。

- a 咬合調整
- b 金属修復物の研磨
- c 金属修復物の除去
- d 金属修復物装着歯の抜去
- e 歯科用金属のパッチテスト

解答：e

109D-21

50 歳の女性。口腔内の疼痛を主訴として来院した。1 年前から違和感に気付いており、1 か月前から左側頬粘膜に接触痛を感じるようになったという。口腔内写真（別冊 No.21A）と、ある検査の写真（別冊 No.21B）を別に示す。



追加して行う検査はどれか。2つ選べ。

- a 触覚検査
- b 味覚検査
- c 唾液成分検査
- d 病理組織学検査
- e 金属修復物元素分析

解答：d, e

108A-57

皮内テストで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 検査液 1.0ml を皮内注射する。
- b 陰性であればアレルギーは否定できる。
- c IV型アレルギーの判定は注射の1時間後に行う。
- d 抗ヒスタミン薬の内服は継続したまま検査する。
- e アナフィラキシー反応が誘発される可能性がある。

解答：e

107C-61

皮膚検査について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a プリックテストは表皮穿刺を行う。
- b 皮内テストの判定は24時間後に行う。
- c 皮内テストの対照薬は注射用蒸留水を用いる。
- d パッチテストはI型アレルギーの判定に用いられる。
- e 局所麻酔薬の皮内テストは血管収縮薬を含まない溶液を用いる。

解答：a, e

106D-44

60歳の女性。口腔内の違和感を主訴として来院した。2年前から右側頬粘膜の違和感と灼熱感とを自覚し、両足の手足に発疹を生じるようになったという。初診時の口腔内写真（別冊 No.44A）と手足の写真（別冊 No.44B）とを別に示す。



適切な検査はどれか。1つ選べ。

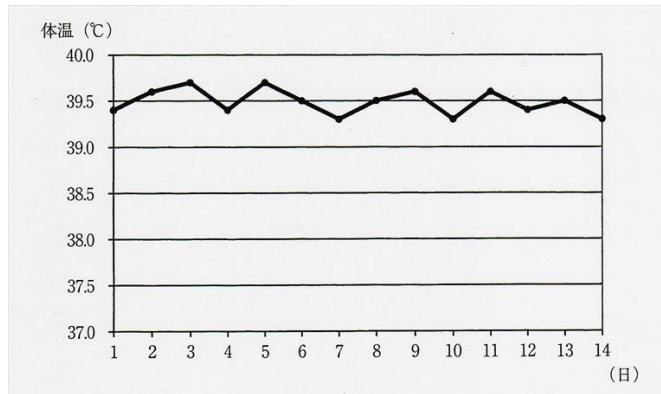
- a RF
- b CEA
- c 針反応
- d パッチテスト
- e ツベルクリン反応

解答：d

第2章4節 全身の症候 3) 発熱、全身倦怠感

107C-38

体温の変化を図に示す。



熱型はどれか。1つ選べ。

- a 間欠熱
- b 稽留熱
- c 弛緩熱
- d 周期熱
- e 波状熱

解答：b

第2章4節 全身の症候 5) 意識障害・失神疾患

112B-12

意識を消失した患者に共通する呼吸不全の原因はどれか。1つ選べ。

- a 胸郭の硬直
- b 上気道閉塞
- c 声門の閉鎖
- d 横隔膜の痙攣
- e 呼吸筋の麻痺

解答：b

104C-39

Japan Coma Scale による意識障害の評価で「痛み刺激に対して全く反応しない」状態はどれか。1つえらべ。

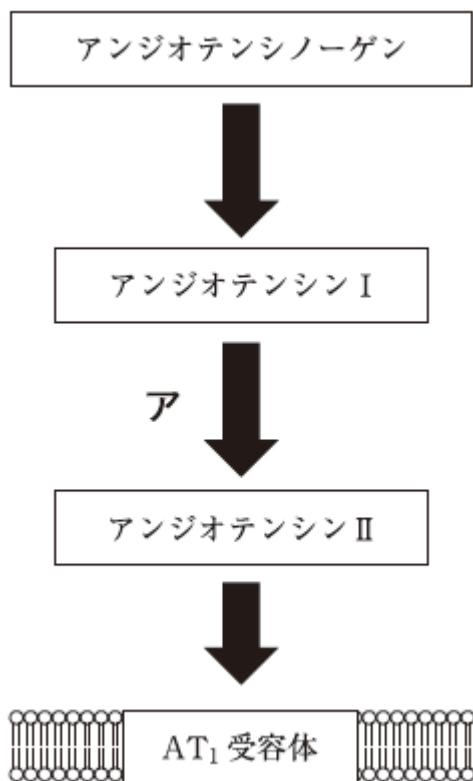
- a I-1
- b II-10
- c II-30
- d III-100
- e III-300

解答：e

第2章4節 全身の症候 11) 血圧変動 (高血圧、低血圧)

111D-37

血圧調節経路の模式図を示す。



アの過程を抑制するのはどれか。1つ選べ。

- a β 遮断薬
- b α_1 遮断薬

- c Ca拮抗薬
- d ACE阻害薬
- e AⅡ受容体拮抗薬

解答：d

第2章4節 全身の症候 12) 不整脈（期外収縮、徐脈、頻脈）

112A-61

頻拍発作を起こしやすい病態はどれか。1つ選べ。

- a 心房細動
- b 洞性不整脈
- c 洞房ブロック
- d 房室ブロック
- e QT延長症候群

解答：a・e

※複数の正解があるため、複数の選択肢を正解として採点する。

112B-22

徐脈を呈するのはどれか。2つ選べ。

- a 心室細動
- b 過換気症候群
- c 洞不全症候群
- d 血管迷走神経反射
- e 甲状腺機能亢進症

解答：c, d

第2章4節 全身の症候 15) 睡眠障害、頭痛、頭重感

109A-101

睡眠時無呼吸症候群の確定診断にもちいられるのはどれか。1つ選べ。

- a シンチグラフィ
- b パラトグラフィ
- c サーモグラフィ
- d ポリソムノグラフィ
- e ビデオフルオログラフィ

解答：d

第2章5節 薬物の有害作用による口腔症状 1) 多形（滲出性）紅斑

110C-38

抗菌薬や NSAIDs の有害作用で高熱と粘膜の紅斑を伴う重症薬疹を特徴とするのはどれか。
1つ選べ。

- a Reye 症候群
- b 医原性 Cushing 症候群
- c Stevens-Johnson 症候群
- d 薬剤性ネフローゼ症候群
- e 薬剤性 Parkinson 症候群

解答：c

第2章5節 薬物の有害作用による口腔症状 2) 歯肉肥厚（歯肉増殖）

110C-12

14歳の男子。歯肉の腫脹を主訴として来院した。既往歴として脳炎後遺症によるてんかん発作がある。初診時の口腔内写真（別冊 No.2）を別に示す。



医療面接時に聴取する事項で最も留意すべきなのはどれか。1つ選べ。

- a 口呼吸
- b 常用薬
- c ブラキシズム
- d 食物アレルギー
- e 歯間ブラシの使用

解答：b

第2章5節 薬物の有害作用による口腔症状 3) 唾液分泌量減少、唾液分泌量増加

110C-25

口腔乾燥の原因となるのはどれか。

- a ドネペジル塩酸塩
- b ピロカルピン塩酸塩
- c アセチルコリン塩化物
- d アトロピン硫酸塩水和物
- e セビメリン塩酸塩水和物

解答：d

108A-73

ピロカルピン塩酸塩によって亢進するのはどれか。2つ選べ。

- a 散瞳
- b 心拍数
- c 唾液の分泌
- d 腸管の蠕動運動
- e 血管平滑筋の収縮

解答：c, d, e

第3章1節 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療の基礎

110C-6

要介護高齢者の医療面接で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 一問一答で行う。
- b マスクを着用する。
- c 非言語的な表現を避ける。
- d 多くの情報を一度に伝える。
- e 生活環境に対する質問は避ける。

解答：a

第3章1節 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療の基礎 3) チーム医療

112C-5

チーム医療の目的はどれか。1つ選べ。

- a 仕事量の平均化
- b 先進医療の提供
- c 診療コストの削減
- d 診療プロセスの標準化
- e 患者の多様なニーズへの対応

解答：e

第3章2節 薬物療法の基本 1) 薬物の効果に影響する因子

107C-68

薬物動態のうち、高齢者で低下するのはどれか。2つ選べ。

- a 薬物代謝能
- b 薬物排泄能
- c 血中遊離型薬物濃度
- d 水溶性薬物血中濃度
- e 脂溶性薬物分布容積

解答：a, b

第4章1節 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応 1) 循環器疾患

111B-44

高血圧症患者の歯科治療で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 局所麻酔は行わない。
- b 血圧と脈拍をモニタリングする。
- c 頻脈の場合は治療の中止を検討する。
- d 水平位診療では頭部を体幹より低くする。
- e 著しい血圧上昇にはニフェジピンを舌下投与する。

解答：b, c

111D-61

慢性心不全の重症度の評価に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a CRP
- b Dダイマー
- c NYHA 分類
- d ヘマトクリット
- e 脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP)

解答：c, e

110C-125

失神発作を伴いやすい不整脈はどれか。1つ選べ。

- a 心房細動
- b 右脚ブロック
- c 上室性期外収縮
- d 心室性期外収縮
- e 高度房室ブロック

解答：e

109D-28

81歳の男性。下顎右側第一大臼歯の自発痛を主訴として来院した。高血圧症と脳梗塞の既往がある。抜髄が予定された。入室時の血圧は105/70mmHgであった。局所麻酔後、動悸と気分不良を訴え、しばらくしても症状の改善がみられなかった。術前と局所麻酔後の心電図（別冊 No. 28）を別に示す。

10 mm/mV 25 mm/s



術前

10 mm/mV 25 mm/s



局所麻酔後

適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 前胸部叩打
- b AEDの装着
- c β 遮断薬の投与
- d アドレナリンの投与
- e ニトログリセリンの投与

解答：c

108C-78

脳血管疾患による高次脳機能障害はどれか。2つ選べ。

- a 失行
- b 失語
- c 失声

- d 嚥下障害
- e 上下肢麻痺

解答：a, b

106C-73

慢性心不全患者の急性憎悪に伴う症状はどれか。1つ選べ。

- a 頭痛
- b 発汗
- c 発熱
- d 息切れ
- e けいれん

解答：d

104C-81

狭心症発作に対するニトログリセリン投与の効果はどれか。2つ選べ。

- a 心拍数の減少
- b 冠動脈の拡張
- c 静脈還流量の減少
- d 心筋収縮力の低下
- e 末梢血管抵抗性の増加

解答：b, c

104C-59

左心不全の症状はどれか。1つ選べ。

- a 肝腫大
- b 眼瞼浮腫
- c 下腿浮腫
- d 静脈怒張
- e 起坐呼吸

解答：e

100B-77

心筋梗塞の既往のある患者で、歯科治療は応急処置にとどめたほうが良いのはどれか。

- a 心筋梗塞発症7か月後
- b 冠動脈バイパスグラフト術施行3か月後
- c NYHA 分類のⅢ度
- d 抗凝固薬服用中
- e 洞性不整脈

解答：c

第4章1節 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応 2) 脳血管疾患

109A-48

脳血管疾患の後遺症で頻度の高いのはどれか。2つ選べ。

- a 幻聴
- b 幻覚
- c 失語
- d 片麻痺
- e ヒステリー

解答：c, d

第4章1節 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応 3) 神経・運動器疾患

110C-31

来院時の歩行状態を図に示す。



最も疑われる疾患はどれか。1つ選べ。

- a 脳梗塞
- b 骨粗鬆症
- c Parkinson 病
- d 関節リウマチ
- e 脊髄小脳変性症

解答：a

109A-48

脳血管疾患の後遺症で頻度の高いのはどれか。2つ選べ。

- a 幻聴
- b 幻覚
- c 失語
- d 片麻痺
- e ヒステリー

解答：c, d

109A-113

咀嚼障害を呈する疾患はどれか。2つ選べ。

- a Cushing 病
- b Addison 病
- c Parkinson 病
- d Alzheimer 病
- e von Willebrand 病

解答：c, d

109C-42

75 歳の女性。ある疾患にて服薬加療中であるという。医療面接中に絶え間なく、繰り返し唇をすぼめたり、舌を左右に動かしたりする不随意運動が観察された。

治療薬の長期投与による副作用として、このような症状が発現しやすい原疾患はどれか。

2つ選べ。

- a 糖尿病
- b 高血圧症
- c 骨粗鬆症
- d 統合失調症
- e Parkinson 病

解答：d, e

107A-50

Parkinson 病患者の口腔顔面領域の症状で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 口呼吸
- b 舌の振戦
- c 咀嚼障害
- d 唾液分泌過多
- e 口腔粘膜の網目状白斑

解答：b, c

第4章1節 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応 4) 呼吸器疾患

108A-71

慢性閉塞性肺疾患患者にみられるのはどれか。2つ選べ。

- a 息切れ
- b 起坐呼吸
- c PaO₂の上昇
- d 気道抵抗増加
- e 胸郭コンプライアンス増加

解答：a, d

第4章1節 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応 5) 代謝性疾患

105D-47

54歳の男性。上顎右側第一大臼歯の痛みを主訴として来院した。I型糖尿病で治療を受けているという。正午前の歯科治療中に、気分不快と動悸とを訴え、発汗、振戦および意識の低下がみられた。

まず投与すべき薬物はどれか。1つ選べ。

- a ブドウ糖
- b インスリン
- c ミダゾラム
- d アスピリン
- e ニトログリセリン

解答：a

第4章1節 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応 6) 内分泌疾患

105A-50

副甲状腺ホルモンの作用はどれか。1つ選べ。

- a 抗利尿
- b 血糖降下
- c 子宮収縮

- d 血清 Ca 値上昇
- e エネルギー代謝促進

解答：d

第4章1節 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応

7) 腎・泌尿器・生殖器疾患

107C-117

クレアチニンクリアランスで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a GFRを推算できる。
- b 筋肉量低下で上昇する。
- c 腎機能低下で上昇する。
- d 血清蛋白増加で上昇する。
- e 腎臓で生合成されたクレアチニンを測定する。

解答：a

104C-120

クレアチニンクリアランスが基準値より低い患者の歯科治療で、常用量投与が可能な抗菌薬はどれか。2つ選べ。

- a セフェム系
- b ペニシリン系
- c マクロライド系
- d アミノグリコシド系
- e テトラサイクリン系

解答：c, e

第4章1節 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応 8) 肝疾患

109A-59

プロトロンビン時間が延長する疾患はどれか。1つ選べ。

- a 糖尿病
- b 肝硬変
- c 腎不全
- d リウマチ
- e 高血圧症

解答：b

107A-73

C型肝炎で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 5類感染症に分類されている。
- b 食物や飲み水により経口感染する。
- c 予防にはワクチン接種が有効である。
- d キャリアの半数以上が慢性肝炎へと移行する。
- e キャリアの割合は30歳代より若い世代で増加している。

解答：a, d

106B-48

かかりつけ内科医からの紹介状と検査結果を示す。

紹介状	
患者氏名：	平成 一郎 59歳、男性
診 断：	1. 慢性肝炎、2. 気管支喘息
いつもお世話になります。5年前から上記診断にて当院に通院中の患者さんです。親知らずの抜歯を相談されましたので、貴院を紹介しました。よろしく願います。なお当院での検査結果を添付しています。	

検査結果			
赤血球	420万/ μ L	アルブミン	4.2g/dL (基準値 4.5~5.5)
白血球	5,600/ μ L	尿素窒素	12mg/dL (基準値 9~20)
血小板	14万/ μ L	AST	98IU/L
Hb	15g/dL	ALT	65IU/L
Ht	40%	空腹時血糖	105mg/dL

抜歯前に内科医に問い合わせるのはどれか。2つ選べ。

- a HbA1c
- b 出血傾向
- c 血清鉄値
- d ウイルス抗原の有無
- e クレアチニンクリアランス値

解答：b, d

100A-91

検査項目と検査値との組合せで成人の基準値内にあるのはどれか。1つ選べ。

空腹時血糖 ————— 130 mg/dL

総タンパク ————— 5.5 g/dL

CRP ————— 1.2 mg/dl

AST ————— 35 IU/L

ALT ————— 70 IU/L

解答：d

第4章1節 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応 9) 血液・造血器疾患

103D-3

56歳の女性。口腔内からの出血を主訴として来院した。前日の夕刻から、手指や口腔粘膜に出血斑が発生し消えないという。初診時の口腔内写真（別冊 No.3A）と手指の写真（別冊 No.3B）とを別に示す。



血液検査の結果を表に示す。

赤血球	: 448 万/ μ L
ヘモグロビン	: 13.7g/dL
ヘマトクリット	: 41.4%
白血球	: 3,800/ μ L
血小板	: 8,000/ μ L
好中球 (桿状核)	: 4%
好中球 (分葉核)	: 50%
好塩基球	: 3%
好酸球	: 3%
単球	: 5%
リンパ球	: 35%
出血時間	: 15 分 (基準 1~3)
プロトロンビン時間	: 12 秒 (基準 11~13)
Rumpel-Leede 試験	: 陽性

診断名はどれか。1つ選べ。

- a 再生不良性貧血
- b 急性骨髄性白血病
- c 播種性血管内凝固 (DIC)
- d Plummer-Vinson 症候群
- e 特発性血小板減少性紫斑病 (ITP)

解答 : d

102D-15

74 歳の男性。舌のヒリヒリ感を主訴として来院した。1 か月前から舌の症状と嚥下困難があるという。初診時の写真 (別冊 No.12A、B) を別に示す。



血液検査の結果を表に示す。

赤血球：463万/ μ L
ヘモグロビン：8.5g/ μ L
ヘマトクリット：36%
白血球：7,900/ μ L
血小板：29万/ μ L
血清鉄：40 μ g/dL（基準 59～161）
総鉄結合能：350 μ g/dL（基準 290～390）
フェリチン：30ng/dL（基準 20～120）

嚥下困難の原因で考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 味覚障害
- b 反回神経麻痺
- c 口裂閉鎖不全
- d 鼻咽腔閉鎖不全
- e 食道粘膜の萎縮

解答：e

97D-47

29歳の女性。舌の接触痛を主訴として来院した。3か月前から舌の接触痛とともに嚥下痛が生じたという。初診時の口腔内写真（別冊 No.22A）と手指の写真（別冊 No.22B）とを別に示す。



初診時の検査の結果を表に示す。

赤血球	: 385 万/ μ L
ヘモグロビン	: 8.2g/ μ L
ヘマトクリット	: 30%
白血球	: 3,800/ μ L
血小板	: 18 万/ μ L
血清鉄	: 50 μ g/dL (基準 80~120)
総鉄結合能	: 376 μ g/dL (基準 290~355)

診断名はどれか。

- a 地図状舌
- b 口腔カンジダ症
- c Plummer-Vinson 症候群
- d Hunter 舌炎
- e Sjögren 症候群

解答 : a

第 4 章 1 節 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応 10) 免疫疾患

103C-54

唾液腺に腫脹を呈する疾患はどれか。2つ選べ。

- a Down 症候群
- b Marfan 症候群
- c Sjögren 症候群
- d Mikulicz 症候群
- e Peutz-Jeghers 症候群

解答 : c, d

第 4 章 1 節 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応 11) 精神・心身医学疾患

110A-11

認知機能の評価スケールはどれか。1つ選べ。

- a BI (Barthel Index)

- b FIM (Functional Independence Measure)
- c MMSE (Mini-Mental State Examination)
- d MNA (Mini-Nutritional Assessment)
- e SF-36 (The MOS 36-Item Short-Form Health Survey)

解答：c

110A-33

認知症の中核症状はどれか。1つ選べ。

- a 幻覚
- b 徘徊
- c せん妄
- d 嚥下障害
- e 記憶障害

解答：e

109C-87

認知症の現状で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 口腔ケアの自立度は維持される。
- b 患者の大部分は施設入所している。
- c 要介護となる原因疾患の第1位である。
- d 患者数はここ数年はほぼ横ばいである。
- e 国は認知症サポーターの養成を進めている。

解答：e

109C-110

変性性認知症の原因疾患はどれか。1つ選べ。

- a 脳腫瘍
- b 統合失調症
- c レビー小体病
- d 多発性脳血管障害

e 特発性正常圧水頭症

解答：c

第4章1節 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応 12) 妊婦・授乳婦

(2) 妊娠時の病的変化

112A-41

歯科治療時の偶発症で、妊娠後期の妊婦が起こしやすいのはどれか。1つ選べ。

- a 過換気症候群
- b ホルネル症候群
- c 口腔ジスキネジア
- d 神経原性ショック
- e 仰臥位低血圧症候群

解答：e

110A-103

妊娠 35 週の女性。歯科治療のため水平位にしたところ気分不快を訴えた。

とるべき体位はどれか。1つ選べ。

- a 腹臥位
- b 左側臥位
- c ファウラー体位
- d ジャックナイフ体位
- e トレンデレンブルグ体位

解答：b

第4章1節 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応 13) 乳幼児

110A-19

新生児の呼吸が主に腹式である理由はどれか。1つ選べ。

- a 小さな肺容量

- b 旺盛な新陳代謝
- c 未熟な体温調節
- d 未発達な胸部筋肉
- e 不規則な睡眠リズム

解答：d

第4章1節 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応

14) がん（周術期口腔機能管理を除く）

109A-88

口腔癌患者の疼痛コントロールにおけるオピオイドの使用方法はどれか。2つ選べ。

- a 末期患者に限定する。
- b NSAIDs と併用できる。
- c 経口投与が優先される。
- d 高用量から投与を開始する。
- e 軽度な疼痛に対する第一選択薬である。

解答：b, c

106A-81

48歳の女性。インプラント治療を希望して来院した。5年前に乳癌の手術を受け、現在も通院しているという。医療機関から診療情報提供を受けることとした。

インプラント適用の判断で確認すべき情報はどれか。2つ選べ。

- a 入院の期間
- b 乳癌手術の術式
- c 転移・再発の有無
- d ビスホスホネート製剤投与歴
- e 乳癌手術前の腫瘍マーカーの値

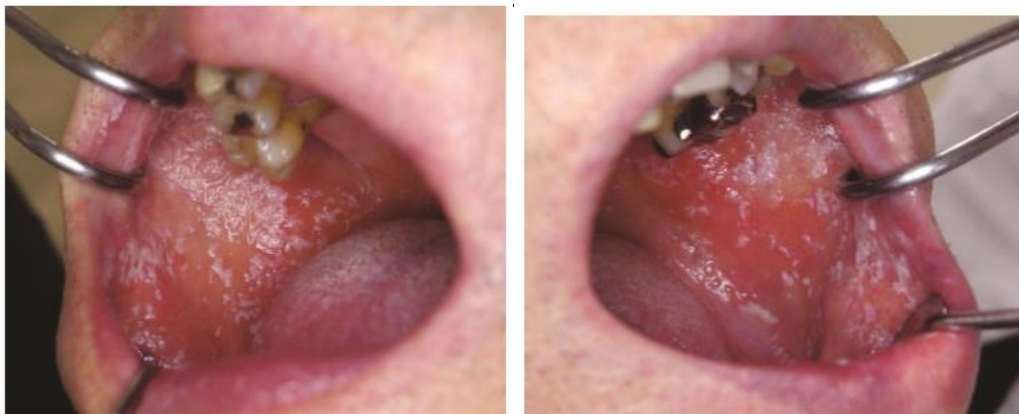
解答：c, d

第4章1節 全身管理に留意すべき疾患と歯科治療上必要な対応

15) その他特殊な対応が必要な患者

107B-9

45歳の男性。口腔内の白色病変を主訴として来院した。2週間前から口腔内に違和感があり、5日前に鏡で見ると白くなっていたという。最近食欲がなく、倦怠感があるという。服用薬はない。初診時の口腔内写真（別冊 No.9）を別に示す。



血液検査の結果を表に示す。

赤血球	: 448 万/ μ L
ヘモグロビン	: 14 g/dL
ヘマトクリット	: 42%
血小板	: 21 万/ μ L
白血球	: 4,700/ μ L
白血球分画	
桿状核好中球	: 12%
分葉核好中球	: 68%
好酸球	: 3%
好塩基球	: 2%
単球	: 7%
リンパ球	: 8%
AST	: 30 IU/L
ALT	: 38 IU/L
BUN	: 10 mg/dL
HbA1c (NGSP)	: 5.8%
CRP	: 0.1 mg/dL

口腔内病変の原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

a 白血病

- b 糖尿病
- c 誤嚥性肺炎
- d 鉄欠乏性貧血
- e 後天性免疫不全症候群

解答：e

103A-87

GVHD で副腎皮質ステロイドを服用している患者の抜歯後に留意するのはどれか。2つ選べ。

- a 感染
- b 出血
- c 歯肉増殖
- d 治癒遅延
- e 知覚神経麻痺

解答：a, d

第4章2節 患者管理上問題となる薬剤服用患者への対応 3) BP、抗RANKL抗体

112D-20

薬剤関連顎骨壊死の発症に関わるのはどれか。1つ選べ。

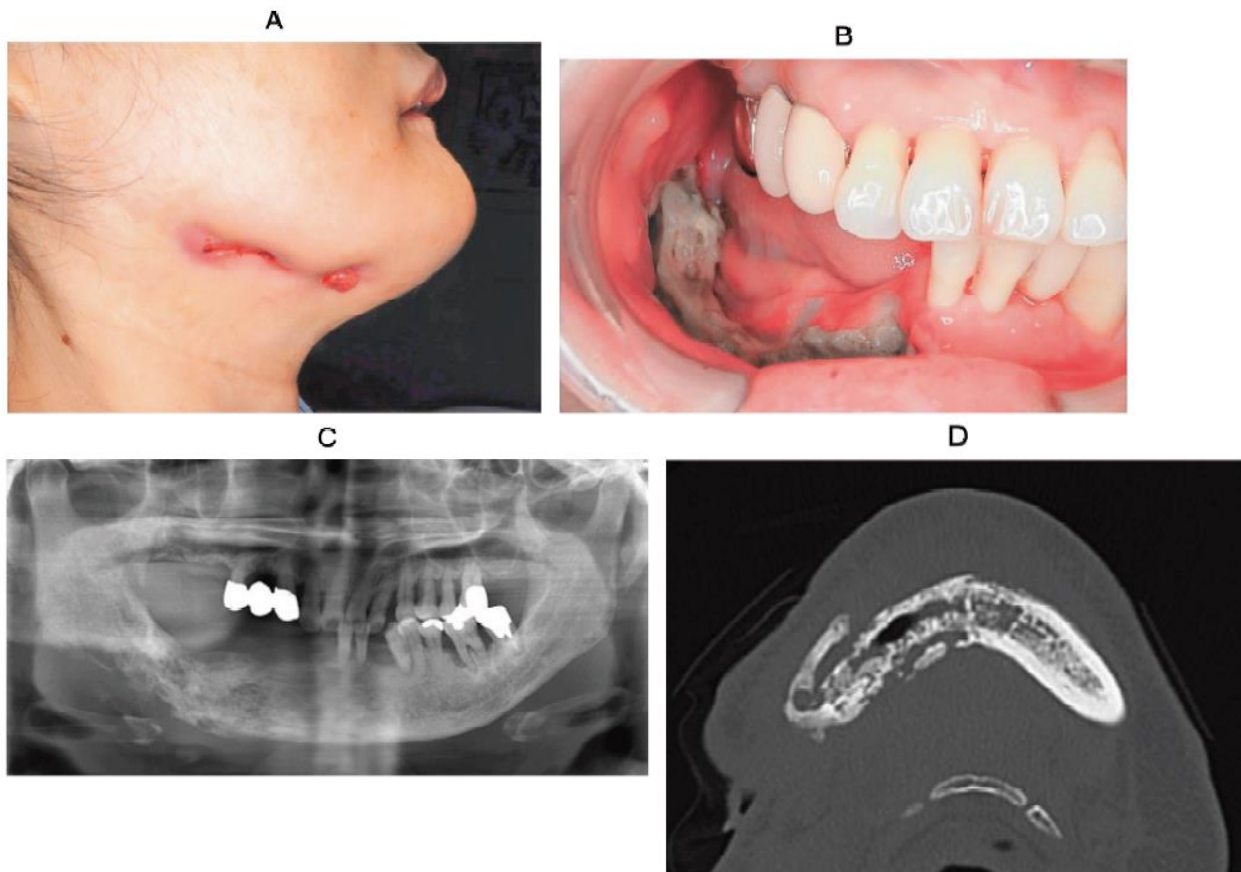
- a ニフェジピン
- b ピロカルピン塩酸塩
- c アレンドロン酸ナトリウム水和物
- d スコポラミン臭化水素酸塩水和物
- e ロキソプロフェンナトリウム水和物

解答：c

111C-49

67歳の女性。下顎右側の痛と排膿を主訴として来院した。6か月前に下顎右側第二大臼歯の抜去を受け、その後同部の骨が露出し、右側顎下部から排膿するようになったという。

既往歴として乳癌があり、現在も治療中である。初診時の口腔外写真（別冊 No. 5A）、口腔内写真（別冊 No. 5B）、エックス線画像（別冊 No. 5C）及び CT（別冊 No. 5D）を別に示す。



この疾患の発症に関連すると考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a オピオイド
- b カルシウム拮抗薬
- c 抗 RANKL 抗体製剤
- d ビスホスホネート製剤
- e 副甲状腺ホルモン製剤

解答：c, d

103A-71

顎骨への自家骨移植の際に注意すべき常用薬はどれか。2つ選べ。

- a エチゾラム
- b ニフェジピン

- c ビスホスホネート
- d アセトアミノフェン
- e 副腎皮質ステロイド

解答：c, e

102A-98

ビスホスホネートを服用している患者の抜歯で留意すべきなのはどれか。1つ選べ。

- a 出血傾向
- b 知覚異常
- c 顎骨壊死
- d 骨性癒着
- e 歯槽骨骨折

解答：c

第4章3節 がん治療と緩和医療 1) がん治療患者の口腔健康管理（周術期口腔機能管理）

112B-13

急性期治療における周術期口腔機能管理の目的はどれか。1つ選べ。

- a 手術侵襲の軽減
- b 咀嚼能力の向上
- c フレイルの予防
- d 術後合併症の予防
- e 認知機能低下の予防

解答：d

第4章3節 がん治療と緩和医療 3) 緩和ケア

109A-88

口腔癌患者の疼痛コントロールにおけるオピオイドの使用方法はどれか。2つ選べ。

- a 末期患者に限定する。

- b NSAIDs と併用できる。
- c 経口投与が優先される。
- d 高用量から投与を開始する。
- e 軽度な疼痛に対する第一選択薬である。

解答 : b, c

103C-65

WHO がん疼痛治療法で正しいのはどれか。2つ選べ。

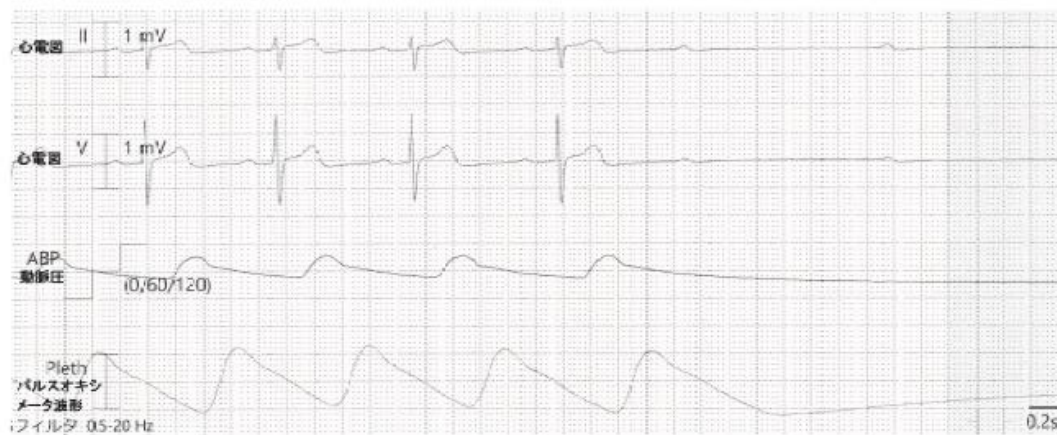
- a 麻薬は第1段階から使用する。
- b 薬物は経口投与を基本とする。
- c 鎮痛補助薬として抗うつ薬を使用する。
- d 痛みが発現したときに鎮痛薬を投与する。
- e アセトアミノフェンは第3段階から使用する。

解答 : b, c

第5章 1節 歯科治療時の偶発症 1) 血管迷走神経反射

111A-80

55歳の男性。舌癌による頸部リンパ節転移のため頸部郭清術を行っている。手術中のモニタの波形・別冊 No. 25 を別に示す。



まず投与すべき薬剤はどれか。1つ選べ。

- a ニトログリセリン
- b リドカイン塩酸塩
- c エスモロール塩酸塩
- d フェニレフリン塩酸塩
- e アトロピン硫酸塩水和物

解答：e

111C-10

血管迷走神経反射における循環動態で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 徐脈
- b 不整脈
- c 1回拍出量の減少
- d 循環血液量の減少
- e 末梢血管抵抗の増加

解答：a

111D-41

抜歯中に患者が徐脈、血圧低下および顔面蒼白をきたした。

最初に行う対応はどれか。1つ選べ。

- a 胸骨圧迫を行う。
- b 静脈路確保を行う。
- c 意識と呼吸の確認をする。
- d アドレナリンを静脈内投与する。
- e ニトログリセリンを舌下投与する。

解答：c

105D-8

20歳の男性。下顎右側埋伏智歯の抜去のため来院した。既往歴に特記事項はない。下顎孔伝達麻酔を施行直後、気分不快を訴えた。水平位にして酸素吸入を行い、生体モニタを装着したが、10分経過後に症状の改善がみられず、意識レベルが低下したため薬物投与を行うこととした。皮膚症状を認めない。装着10分後の生体モニタの画面（別冊 No.8）を別に示す。



治療薬として適切なのはどれか。1つ選べ。

- a ジアゼパム
- b エフェドリン塩酸塩
- c コデインリン酸塩水和物
- d クロルフェニラミンマレイン酸塩
- e ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム

解答：b

第5章1節 歯科治療時の偶発症 4) アナフィラキシーショック

112D-38

アナフィラキシーショックで見られる血圧低下の原因はどれか。2つ選べ。

- a 徐脈
- b 貧血
- c 血管拡張
- d 気管支拡張
- e 血管透過性亢進

解答：c, e

111A-58

アナフィラキシーショックの治療に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a β 遮断薬
- b アドレナリン
- c カルシウム拮抗薬
- d 副腎皮質ステロイド薬
- e アトロピン硫酸塩水和物

解答：b, d

111B-7

I型アレルギーの原因となるのはどれか。1つ選べ。

- a シリカ
- b チタン
- c ニッケル
- d ラテックス
- e アルジネート

解答：d

108A-124

アナフィラキシーショックでみられるのはどれか。2つ選べ。

- a Hb 値の低下
- b 上気道の浮腫
- c 蕁麻疹の出現
- d 静脈還流の増加
- e 血管透過性の低下

解答：b, c

106B-49

24 歳の女性。唾石摘出術後に疼痛があったため鎮痛薬を投与したところ、全身搔痒感と呼吸困難とを訴えた。顔面は紅潮し口腔内には浮腫がみられ、呼吸は努力性で喘鳴を認めた。体温 35.9 °C、呼吸数 23/分、脈拍 100/分、血圧 80/40mmHg であった。酸素吸入とともに静脈路を確保した。

まず投与すべき薬剤はどれか。1つ選べ。

- a フロセミド
- b ジアゼパム
- c アドレナリン
- d フルマゼニル
- e ニトログリセリン

解答：c

第5章 1節 歯科治療時の偶発症 5) 血管収縮薬による過剰反応

110B-34

21 歳の女性。強度の歯科治療恐怖症で、亜酸化窒素吸入鎮静下での抜歯が計画された。アドレナリン添加 2%リドカイン塩酸塩 1.8mL を用い浸潤麻酔を行ったところ、呼吸困難、四肢のけいれん及び意識混濁が観察された。血圧は 120/82mmHg、脈拍数 78/分、呼吸数 24/分、SpO₂ 99%で、動脈血液ガスは pH7.55、PaCO₂ 28Torr、PaO₂ 280Torr であった。

考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 気管支の収縮
- b 脳血管の収縮
- c 炭酸ガスの蓄積
- d 呼吸性アシドーシス
- e 血中カルシウム濃度の低下

解答：b, e

第5章1節 歯科治療時の偶発症 6) メトヘモグロビン血症

106C-87

歯科治療中の偶発症とその治療薬との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 喘息 ————— バルビタール
- b 不整脈 ————— リドカイン塩酸塩
- c 高血圧 ————— アトロピン硫酸塩水和物
- d 全身けいれん ————— ロキソプロフェンナトリウム水和物
- e メトヘモグロビン血症 ———— メチレンブルー

解答：b, e

第5章1節 歯科治療時の偶発症 8) 全身状態の増悪

108B-22

56歳の男性。下顎右側第一大臼歯の抜髄を予定した。心筋梗塞の既往があり高血圧症で加療中である。モニター心電図とパルスオキシメータを装着後、仰臥位で浸潤麻酔直後にいびきをかきはじめ、不規則な呼吸となった。その時の心電図（別冊 No.22）を別に示す。パルスオキシメータは88%を示し、血圧は110/68mmHgであった。



対応として正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 気道の確保
- b 下肢の挙上
- c 胸骨圧迫の開始
- d アトロピン硫酸塩水和物の投与
- e ニトログリセリン貼付剤の適用

解答：a, d

第5章2節 救急時の対応 2) 救急患者の診察

111B-54

歯科治療時の偶発症で、血圧は保たれているが意識障害を伴うのはどれか。2つ選べ。

- a 過換気症候群
- b 局所麻酔薬中毒
- c 血管迷走神経反射
- d 高度房室ブロック
- e アナフィラキシーショック

解答：a, b

第5章2節 救急時の対応 2) 救急処置を要する症状

(1) 失神、ショック、痙攣、呼吸困難、胸痛、嘔吐、皮膚症状

110C-125

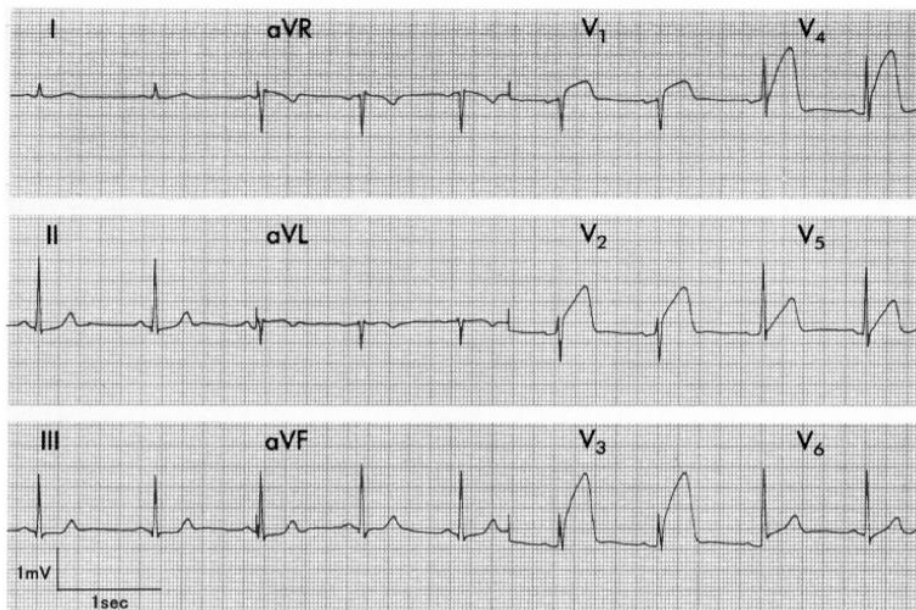
失神発作を伴いやすい不整脈はどれか。1つ選べ。

- a 心房細動
- b 右脚ブロック
- c 上室性期外収縮
- d 心室性期外収縮
- e 高度房室ブロック

解答：e

110D-40

60歳の男性。10年前から高血圧症、狭心症、糖尿病および脂質異常症のため加療中である。アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬、カルシウム拮抗薬および糖尿病治療薬を服用している。下顎右側第一大臼歯の抜去を行うこととした。処置中、強い胸痛を訴えたので、12誘導心電図を記録した。その時の血圧は152/85mmHgであった。心電図（別冊 No.39）を別に示す。



みられる所見はどれか。1つ選べ。

- a ST上昇
- b 心室頻拍
- c 心房細動
- d 洞性頻脈
- e 左脚ブロック

解答：a

107A-107

30歳の女性。歯性上顎洞炎のため、抗菌薬の静脈内投与を開始した。10分後、顔面から頸部にかけて皮膚の発赤と膨疹が出現した。

この後、起こり得る症状はどれか。2つ選べ。

- a 発熱
- b けいれん
- c 血圧低下

- d 牙関緊急
- e 呼吸困難

解答：c, e

99D-59

34 歳の女性。下顎右側第一大臼歯の自発痛を主訴として来院した。抜髄を行うためにエピネフリン含有 2% 塩酸リドカインで浸潤麻酔を始めたところ、呼吸困難を訴え、意識レベルが低下した。処置 10 分後に回復した。処置時の写真（別冊 No.28）を別に示す。



処置の根拠となったのはどれか。2つ選べ。

- a 徐脈
- b 過呼吸
- c 舌根沈下
- d 血圧低下
- e テタニー様けいれん

解答：b, e

第5章2節 救急時の対応 3) 救急処置 (2) 成人に対する一次救命処置

112C-24

一次救命処置で行うのはどれか。2つ選べ。

- a 輸液
- b 気管挿管
- c 胸骨圧迫

- d 意識の確認
- e 薬剤の投与

解答：c, d

110A-7

AEDによる除細動実施後に直ちに行うのはどれか。1つ選べ。

- a 胸骨圧迫
- b 人工呼吸
- c 意識の確認
- d 頸動脈の触知
- e AEDの電源オフ

解答：a

第6章 チーム医療

109C-107

地域医療連携の主たる目的はどれか。1つ選べ。

- a 医療事故の回避
- b 先進医療の普及
- c 病院の紹介率の上昇
- d 切れ目のない医療の提供
- e 医療機関の相互評価の推進

解答：d

104C-98

クリニカルパスの目的はどれか。2つ選べ。

- a 疾患の早期発見
- b 院内感染の防止
- c 医療の質の標準化
- d チーム医療の推進

e 医療事故発生時の対応

解答：c, d

第7章 訪問歯科診療における有病者歯科治療の実際

109C-107

在宅診療で嚥下機能を評価する際に行われる検査はどれか。2つ選べ。

- a Saxon テスト
- b 嚥下造影検査
- c スパイロメトリ
- d 改訂水飲み検査
- e 反復唾液嚥下テスト

解答：d, e

108C-94

90歳の女性。介護支援専門員より口腔ケア方法の指導を依頼された。肺炎を繰り返しているという。上下肢に運動障害は認めない。発話はなく、時折発せられる声は湿性を呈していた。

口腔ケア指導を行うにあたり適正な頸部の姿勢はどれか。1つ選べ。

- a 前屈
- b 前突
- c 側屈
- d 回旋
- e 伸展

解答：a